

「はじめに」

私が浜北青年会議所に入会して10年が経ち、その間、様々な役職を経験させていただきました。これまでに数多くの困難や失敗がありました。しかしながら、私の周りには常に手を差し伸べてくれる仲間、先輩諸兄がいました。青年会議所にいてよかったと思うこと、それは第一に共に切磋琢磨できる仲間に出会うことができたという感謝の気持ちです。本年は、これまで皆さんから受けたご恩を心に抱き常に感謝の気持ちをもって邁進してまいります。

「過去に、先輩諸兄に感謝」

浜北青年会議所は一昨年40周年、大きな節目を越えました。40は青年会議所では特に大きな意味をもちます。卒業の年であり、会員が新たなステージへと羽ばたく年だからです。法人も同様です。新たなステージへ羽ばたかなければなりません。第41期においても、新たな一步を踏み出すというスローガンのもと様々な活動が行われてきました。その流れを本年も推進してまいります。そのためには、まずは、これまで行われてきた事業がなぜ始められたのか、時代背景が異なるにも関わらずこれらの事業はなぜ今なお続けられているのか知らなければなりません。理由は、様々であると思います。その目的が普遍的なものであったり、先人たちが時代に、地域に目を配り、その状況に即して進化発展させてきたからでしょう。ただ知るだけでは不十分です。そもそもそれが本当に今も必要なのか、必要であるならば何か新しい要素を加え更に発展させる余地はないのか、それが必要でありかつ事業として完成形であるならば新たな道を模索する等、常に現状を分析し、それを踏まえて実行に移さなければなりません。新しいこととは、0から始めることだけを指すではありません。これまでのものに新たな色を少し加え、濃さや配分を変えるだけでも別の色に、事業になります。重要なのは、これでいいのか、他に何かないのかと常に現状を分析し、その先をみることです。このプロセスを踏むことが、個人として、組織としての大きな飛躍へのきっかけとなるだけでなく、今活動する私たちが先人たちや歴史に対して感謝を表すこととなります。

「地域に感謝」

浜北青年会議所が誕生した1978年から私たちを取り巻く環境は大きく変わっています。独立した自治体である「市」から自治体の中の一行政「区」へととなりました。技術の進歩、貧富の差の拡大、自国主義の台頭等により人々の価値観も日々大きく変わり続けています。そのような時代であるからこそ、組織としても、個人としても拠りどころとなる理念や確固たる考えを持たなければなりません。私たち青年会議所が持ち続けなければならない

もの、それは明るい豊かな社会の実現であると考えます。明るい豊かな社会の実現とは何か、答えは様々であると思いますが、私はこう考えます。自らが暮らす地域へ誇りをもつ人に溢れる社会であると。私たちは浜北で活動をしています。まずは私たち自身が、浜北のことを好きになり、考えなければなりません。その上で、浜北に関わっている全ての方に、特に未来溢れる子供たちに自らが暮らしている浜北のことにもっと関心をもち、好きになってほしい。その子供たちが成長し、大人になった時、この地域には暮らしていないかもしれませんが。しかし、生まれ育ったふるさとに誇りを持ち続けてほしい。これから出会う人々に、自信をもってこの地域を発信できるようになってほしい。大人であっても同様です。たとえ生まれ故郷ではなかったとしても、今この地域と関わっている以上この地域のことをもっと知って、考えてほしい。それこそが、地域にお世話になっている私たち青年会議所のできることであり、為すべきことです。浜北のことを誇りに思うということは、他の地域をないがしろにし、浜北の事しか考えないという事ではありません。他の地域の素晴らしさをも理解、尊重した上にあるものです。今年度は、そのような地域に対する意識を育むことができるような事業展開をしてまいります。

「メンバーへ、そしてこれからのメンバーへ」

私たちは青年会議所です。40歳までの青年が計画し、会議を重ね、実行する、団体としても個人としても更なる高みを目指す団体です。様々な考えや経歴を持つメンバーが各々の思いをぶつけあい、昇華してきました。皆が当事者意識を持ち、事業を、互いを高めてきました。また、40歳になると自動的に卒業し若い力が加わる、この循環を繰り返し、組織が、そこに属する個人が成長をしてきました。この循環が止まった時、組織も終わってしまいます。この流れをとめないためにも、青年会議所で何を得ることができるのか、一人一人が考え、自分の答えを見つけ人に伝えていかなければなりません。私たちだけで考える必要はありません。私たちには敬愛してやまない先輩方が数多くいらっしゃいます。私たちが本気でぶつかればそれ以上のものを返してくれます。今必要なのは知識ではありません。私たち自身が今この青年会議所にいることで何を得ることができるのか、そもそも青年会議所は何を目指す組織なのか、その中で浜北青年会議所は何を目指しているのか、自分自身で直接感じることです。それを感じたら自分だけでなく皆で共有していきましょう。自分にはない視点が必ずあり、世界が広がっていくはずです。それを皆ができれば、人々に青年会議所のことを今まで以上に思いを込めて伝えることができるはずです。それができれば会員拡大に必ずつながります。

「結びに」

一人一人は微力であっても、皆が同じ方向に向くことができれば大きな力となります。メンバー全員が同じ方向性を持ち続けることができるよう、理事長として常に先頭に立っていきます。皆にとって有意義な一年となるよう、そして、次につながる一年となるよう全力

で活動してまいります。

【基本理念】

共に活動してくれるメンバーに感謝を。

そして、私達に関わって下さる全ての人に感謝を。

【基本方針】

現状を分析し、常に新しいことへ挑戦しよう。

地域に誇りをもつ人材の育成。

青年会議所に所属していることに誇りを。

スローガン

Let's enjoy JC together !